

令和6年度 第1回 工賃向上研修会

**行政説明
(農福連携の概要 等)**

県障害福祉課企画グループ

1 茨城県の月額工賃の現状について

- ・ 令和5年度 平均月額工賃：速報値で**19,358円**となっており、前年度比+3,632円となっている。
- ・ 報酬改定に伴う新計算式の導入等の影響もあると考えられる。

※2023 (R5) 年度【新計算式】 (単位：円、〔〕内：対前年度増加率)

	2023 (R5) 年度 (※速報値)
月額工賃 (対前年度増加金額)	19,358 (+3,632) 〔+23.1%〕

※参考【旧計算式】

(単位：円、〔〕内：対前年度増加率)

	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
月額工賃 (対前年度増加金額)	15,201	15,726 (+525) 〔+3.5%〕	15,844 (+118) 〔+0.8%〕
全国平均 (本県順位)	16,507 (38位)	17,031 (39位)	—

※参考

(単位：円、〔〕内：対前年度増加率)

	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
時間額 (対前年度増加金額)	200	206 (+6) 〔+3.0%〕	216 (+10) 〔+4.9%〕

2 農福連携の課題・メリット、目指す方向性

農福連携とは・・・

「障害者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組」

それぞれの課題・メリット

農業・農村の課題

- ・ 農業労働力の確保
- ・ 荒廃農地の解消など

福祉(障害者等)の課題

- ・ 障害者等の就労先の確保
- ・ 工賃の引上げ など

障害者等が能力を発揮し、それぞれの特性を活かした農業生産活動に参画

農業者のメリット

- ・ 農業労働力の確保
- ・ 農地の維持・拡大
- ・ 荒廃農地の防止
- ・ 地域コミュニティの維持 等

福祉(障害者等)のメリット

- ・ 障害者等の雇用の場の確保
- ・ 工賃向上
- ・ 生きがい、**リハビリ**
- ・ 一般就労のための訓練 等



「3 障害者からみた農業の魅力」

「4 農作業が障害者にもたらす健康改善効果」

目指す方向

1 農業生産における障害者等の活躍の場の拡大

障害者等の雇用・就労の場の拡大を通じた農業生産の拡大

2 農産物等の付加価値の向上

障害の特性に応じた分業体制や、丁寧な作業等の特長を活かした良質な農産物の生産とブランド化の推進

3 農業を通じた障害者の自立支援

障害者の農業への取組による社会参加意識の向上と、工賃（賃金）の上昇を通じた障害者の自立を支援

資料出所「農福連携をめぐる情勢（農林水産省）」より抜粋

3 障害者からみた農業の魅力

1 「農産物を生産する」過程の分かりやすさ、仕事の意味の理解しやすさ
障害者が“農産物の成長や収穫の喜びを体感”しやすい

2 内職的な作業にないメリット

以下のような効果が例として期待できる

■ 身体障害者（後天的）

農作業を通じたリハビリテーション効果、身体機能の向上効果

■ 知的障害者

屋外作業や土に触れる行為 → ストレス軽減、不規則な睡眠を減らす効果 → 障害者の生活安定

■ 精神障害者（発達障害者を除く）

農作業が持っている癒し的な効果 → 精神的不安定さに対するリハビリテーション効果

■ 発達障害者

後天的に精神的なダメージを受けた方 → 精神面でのリハビリテーション効果

3 農作業の種類や内容の豊富さ、障害特性に合った作業のを見つけやすさ

■ 身体障害者

- ・ 農産物を適期で収穫する判断能力の高さ → 作業管理で能力を発揮できる可能性
- ・ 手足の不自由な人 → 作業が困難な場合も
(足が不自由でも、作業台の上で行える出荷調製作業は可能)。

■ 知的障害者

- ・ 体力面、集中力の持続さ → 繰り返し作業で能力を発揮できる可能性
- ・ 適期の収穫、作物と雑草の識別等の判断が難しい場合も。

■ 精神障害者（発達障害者を除く）

- ・ 判断能力の高さ → 適期の収穫等の作業や、農業機械の運転等で能力を発揮できる可能性
- ・ 長時間作業に取り組む難しさ、服薬の影響等で動作が緩慢になる場合も。

■ 発達障害者

- ・ 視覚優位、こだわりが強い等の障害特性 → 点検や計量、細かい作業で能力を発揮できる可能性
- ・ 対人関係が苦手、複数並行作業が難しい、手先が器用でない、落ち着いて座れない場合も。



4 農作業が障害者にもたらす健康改善効果

農福連携に取り組む事業所へ、農作業が障害者にもたらす健康改善効果に関する調査を行い、健康改善率と改善理由を調査

「健康が改善した項目」(知的・精神で大きな差がないもの)

以下の項目が改善される可能性も

改善項目① 心理的・身体的ストレス

- ・適度に身体を使う農作業 → ストレス軽減
- ・農作業に携わる「他者からの支援」「本人に適した農作業」「日光」などもストレス軽減の一助に。

改善項目② 集中力

- ・「持続性注意(一定時間注意を維持)」や「配分性注意(同時に複数の対象を注意)」に關与する脳神経機能が強化

改善項目③ 自己肯定感や自信

- ・多様な作業の成功体験 → 自身の能力を肯定的に自覚する機会
- ・「農作業に携わる他者の力」→ 自己肯定感や自信の改善

改善項目④ 肥満傾向

- ・適度に身体を使う農作業の提供 → 運動習慣

改善項目⑤ 健康改善

- ・身体を使う農作業 → 行動体力の改善

改善項目⑥ 社会性

- ・「本人の努力・意識改善」のほか「就労支援員の存在」「屋外で光を浴びる経験」



「健康が改善した項目」(知的・精神で大きな差があるもの)

改善項目⑦ 器用さや身体の柔軟性

- ・「適度に身体を使い同じ作業を繰り返す」「少しずつ作業姿勢が変化する作業を繰り返す」
- ・精神障害者の健康改善率が低い理由：統合失調症の安定・慢性期やうつ病の症状の可能性も。

改善項目⑧ 睡眠

- ・農作業が本人にとって適度な運動となる場合 → 睡眠の改善
- ・睡眠に課題がある知的障害者の改善率は75.0%、精神障害者の改善率は41.4%で有意な差(精神疾患特有の要因により、農作業だけでは改善につながらないこともあると考えられる)

